

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第33報～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成15年11月17日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Uroglena americana*  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



*Codonella cratera*  
(スナカラムシ)  
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。

### コメント

植物プランクトンは、黄色鞭毛藻のウログレナが現れて、全体の細胞数も増加した。緑藻のスタウラストルムも増加した。動物プランクトンはスナカラムシが最も多く、次いで太陽虫のアカントキスティスがかった。ワムシでは、ドロワムシが見られた。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	760

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
肉質虫類	<i>Acanthocystis chaetophora</i>	140

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

## (2) 植物プランクトン

平成15年11月17日

第33報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Oscillatoria</i> sp. *	1		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	700		
(黄鞭) <i>Mallomonas akrokomos</i>	40		
(黄鞭) <i>Pseudopedinella</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	3		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	320		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	50		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	40		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	2		
(緑) <i>Closterium gracile</i>	2		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	17		
(緑) その他の緑藻	10		
(藍) 藍藻綱	1	0.1	1.3
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	750	59.3	21.8
(珪) 珪藻綱	33	2.6	0.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	360	28.5	12.3
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	121	9.6	63.7
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1265	総体積	9.93E+05
種類数	15	( $\mu\text{m}^3$ )	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし\*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。